

授業科目(ナンバリング)	社会学概論(CA112)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>複雑で不透明な現代社会を生きる若者にとって、自分と社会とのつながりは容易には見えてこない。我々の目の前に広がっているのは、〈私〉に閉じこもりがち若者の経験の世界であり、そこに幽閉された若者は、「社会」(連帯と協働)をリアルに経験できない。この個人化された世界に相対し、馴染んだ「見えないもの」を見えるようにするなかで、自分が抱え込んでいる困難さを生み出す仕組みを明らかにするのが、社会学である。本講義では、ミクロな自己から地域社会、マクロな国民国家の水準に至るまでの、社会に関する様々なトピックを検討する。それを通じて、人・モノ・情報のグローバル化を迎えるなか、自己と社会の間に新しいつながりを発見し、観光領域において重要であるホスピタリティ(他者を思いやる力)を、受講生に修得させることを目標とする。</p>							②⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	自己や地域社会、国民国家や国際社会等の様々な水準における専門的知識を修得し、それらを観光及び地域社会の様々な課題に適用して解決するための条件を解明することができる。				・レポート	60%	
情報収集、分析力	社会人として必要な、現代社会に関する幅広い教養的知識や情報を収集し、それを文章や報告へと変換・分析して、自己の成長や観光及び地域社会の課題解決等に役立てることができる。				・レポート ・リフレクションカードにおける質問事項	20% 10%	
コミュニケーション力	社会に関する様々なトピックについてグループメンバーとディスカッションし、その成果を文章に表現することができる。				・ディスカッション	10%	
協働・課題解決力						%	
多様性理解力						%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験は行わない。課題レポートでは授業内容を受けて、自らが関心を持ったテーマを選び、レポートを作成する(評価比率80%)。課題レポートでは、社会的なものの方に基づき社会学の基礎知識を、観光や地域社会の様々な課題に適用し、問題解決の糸口が見いだせているかを問い、ポートフォリオにレポートを提出させる。リフレクションカードにおける質問事項(評価比率10%)では、観光や地域社会の課題に対応できる情報収集力・分析力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。また社会に関する様々なトピックについてグループメンバーでディスカッションをさせ、その成果が文章に適切に表現できているかどうかを評価する(評価比率10%)。なお質問に関しては、授業内に回答の形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>講義とディスカッションが中心になる。資料を配布しそれを中心に行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。適宜資料を配布する。 参考書：『〈私〉をひらく社会学』豊泉周治・鈴木宗徳・伊藤賢一・出口剛司 大月書店 2014年 ※講義内で扱った事柄をより深く知りたい場合は、参考書の該当箇所を参照すること。 指定図書：『はじめて学ぶ社会学―思想家たちとの対話』(土井文博・荻原修子・嵯峨一郎編、ミネルヴァ書房、2008)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>社会事象に関心を払い、課題をもって日々の暮らしを送り、常識にとらわれず、見聞を広くし、主体的に物事を考えるようになることを期待する。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	見えないものを見る	目に見えない「社会」の出現と、それをどう知覚するかについて考える	配布資料を読み、社会の認識について復習する
2	拡大する格差と貧困	格差と貧困の時代をどう見るかを、マルクスの議論に沿って考える	配布資料を読んで、マルクスの議論を復習する
3	格差社会におけるジェンダー	男女の生きづらさについて、「不可視化」、「草食系」、女性の労働力率等のトピックから考える	ジェンダーについて予習する
4	権力の社会学	「監視社会化」や「貧困の犯罪化」などのトピックを通じて、我々が犯罪者にどのような道徳的まなざしを向けているのかについて考える	配布資料を読み、権力の道徳的効果について、復習する
5	構成された自己と世界	構成された自己と世界のあり方について、「社会との対話」という観点から考える	配布資料を読み、私と社会とのつながりについて復習する
6	働くことの意味	働くことの意味について、勤労倫理や日本的集団主義、「就労意欲のない若者」等のトピックから考える	配布資料を読み、働くことの意味について復習をする
7	欲望を喚起する社会	欲望と消費が、社会の中でいかに造られるかについて、GDP と幸福の関係、消費社会、モノの記号的意味などのトピックから考える	配布資料を読み、GDP と幸福の関係について復習する
8	「自分らしさ」とアイデンティティ	「自分らしさ」について、エリクソンの議論や若者の内閉化、G.H.ミードの「I と Me」などのトピックから考える	配布資料を読み、G.H.ミードの「I と Me」について復習する
9	心と自己管理	「心」を自己管理する時代について、自己コントロールや自己啓発、ポジティブ思考などのトピックから考える	配布資料を読み、心と自己管理の関係について復習する
10	メディアが生み出す欲望と愛情	メディアが欲望や愛情をいかに生み出すのかについて、「欲望の三角形」やシミュラクルとシミュレーション、現代恋愛事情などのトピックから考える	ジラールの「欲望の三角形」の議論について予習する
11	自由化/個人化	「やりたいことがわからない」という事態について、「物語」の強要や雇用の流動化、「社縁」の衰退などのトピックから考える	配布資料を読み、労働とライフコースについて復習をする
12	民主主義再考	新たな社会を民主的にいかに紡ぎだすかについて、フロムの「自由からの逃走」や現在の制度の弱点などの観点から考える	フロムの「自由からの逃走」の議論について予習し、講義を復習する
13	契約論としての正義論	理想＝理念をいかに制度化するかについて、ロールズの「無知のヴェール」や格差原理、市民宗教などのトピックから考える	ロールズの「無知のヴェール」や格差原理について予習し、講義を復習する
14	公共圏とコミュニケーション	コミュニケーションを通じて公共圏をいかに創り出すかについて、インターネットや理念の現実的機能などのトピックから考える	インターネットのメリット・デメリットについて予習する
15	国民国家と日本人アイデンティティ	国民国家のあり方について、右傾化やアンダーソンの「想像の共同体」、近代化論や国語などのトピックから考える	アンダーソンの「想像の共同体」について予習する